



マーシャルから Iakwe

第8号

Iakwe(こんにちは)

首都マジュロでは、11月ごろからクリスマスの飾りつけが始まります。国民の多くがキリスト教(プロテstant)を信仰しており、「クリスマス」は1年のビッグイベントとなっています。

クリスマス当日は家で過ごす方もいらっしゃいますが、マーシャル諸島共和国では1日を通して教会で「ビート」を踊ります。朝早くから始まり、自分達の出番は深夜になってからということもよくあるそうです。

さて今回は、クリスマスまでに行われた行事や学校でのクリスマスパーティーについて紹介していこうと思います。

トラックから、お菓子が降ってくる？

12月始め、クリスマスパレードが行われました。各国の大使館やマーシャル諸島共和国にある会社等が、パレードをします。車ごとにクリスマスの飾りつけがされていたり、従業員の方がサンタクロースになっていたりしました。普通のパレードと違うところは、「お菓子」が降ってくるところです。子ども達は、お菓子を入れるための袋をもってパレードが始まると楽しみに待っていました。

農園を経営されている方からは、野菜のプレゼントをいただきました。それぞれの国や会社によって装飾もいただくものも違い、見ていてとても楽しかったです。



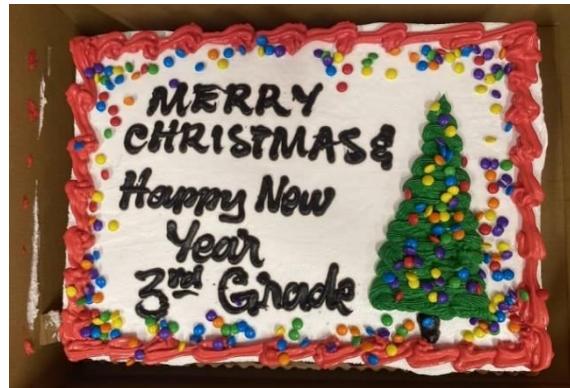
車の中やトラックの荷台からお菓子が降ってきます。

たくさんのお菓子と野菜

学期終わりは、クリスマスパーティー

学期の終わりには、各学年でクリスマスパーティーが行われていました。

ゲームをしたり、お菓子を食べたりしてパーティーを楽しんでいました。パーティーの最後は、マーシャル諸島共和国の子ども達が大好きな「アイスケーキ」。その名の通り、アイスの上にケーキをのせたものです。



子どもも大人も夜まで教会で、ビートの練習をします！

11月から、クリスマスに向けて各教会で歌やビートの練習が行われます。練習時間は、夜8時から深夜にかけて。平日も行われるのですが、クリスマスの練習で疲れて学校に来られない子ども達もいます。

現地の先生は、「クリスマスの練習で疲れているはずなのに、学校に来ている子ども達はすごい。学校に来た子は、しっかりほめてあげたい。」とお話ししていました。

いよいよクリスマス当日！

クリスマス当日は、各宗派がメインの教会に集まってビートをします。私も、任地「ローラ」のグループとして参加し、ビートをしました。

踊りの中には、カヌーを漕いだり、ウクレレを弾いたりする振り付けもてきて、南の島を感じる瞬間でした。



踊りの最中には現地の方が飛び入り参加したり、踊っている人に香水やハンドクリームを塗ったりすることもありました。パレードの時と同様、お菓子まきも行われ、会場全体でクリスマスを楽しむことができました。